



T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年11月25日

我孫子市小中一貫教育だより
第353号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「デイサービス歌声発表会」

根戸小学校の2年生が Abi-キャリアの授業を展開しました。音楽科の授業として「デイサービス歌声発表会」を行いました。

小学校の体育館に、根戸デイサービスの通所者の方々をお迎えし、翌月に行われる歌声発表会で披露する曲を聴いてもらいました。初めは緊張していた子ども達でしたが、曲が流れ始めると練習の成果を発揮し、楽しく歌うことができました。発表を終えると「素敵な歌声をありがとう。」と、おじいちゃんやおばあちゃんから言われ、子ども達はとてうれしそうな表情になりました。歌を聴いていただいた後は、デイサービスの職員の方のギターに合わせて、「しあわせなら手をたたこう」を一緒に歌ったり、オリジナル曲の「どんぐり体操」をしたりしました。全ての活動が終わると、子ども達は「楽しかったです。」「歌声発表会本番も頑張ります。」と自分の気持ちを伝え、デイサービス歌声発表会が終了しました。



聴いて下さる方に楽しんでもらえるよう一生懸命に取り組むことの大切さや、頑張ったことをほめてもらい気持ちが通じることの嬉しさを感じる時間となりました。

Abi-ふるさと「血脇 守之助」

湖北小学校の6年生で我孫子の先人「血脇守之助」の授業が展開されました。学習のめあては、「先人達の功績を調べ、班で協力して新聞を作成する」ことです。

始めに学習の計画と、①「ふるさと我孫子の先人たち」を読む、②調べる、③まとめることを3つ決める、④新聞にまとめる、⑤共有するという手順を確認しました。

次に、ワークシートを活用して調べたことを記入し、グループ毎に話し合いを行いました。特に印象に残ったことは何か、どの内容をどの順番でまとめるか相談しました。新聞づくりは、タブレットを活用しグループのメンバーが同時に作業できるようになっていました。「歯科医師になり色々な役職を歴任したこと」、「野口英世を金銭的にも精神的にも支えたこと」、「どんなときも努力を忘れなかったこと」など感じたことや印象に残ったことは様々でしたが、めあてに向けて意欲的に取り組む姿が見られました。

今回は、新聞を完成させ互いに見合い共有する活動を行います。湖北小学校のNIE (Newspaper In Education) の取り組みと、普段から活用しているタブレットを利用した協働活動を通し、我孫子の先人について意欲的に学んでいました。





T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年12月11日
我孫子市小中一貫教育だより
第354号



我孫子市マスコットキャラクター
「手繋ぎのうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「みつけてみよう」

新木小学校の1年生道徳「みつけてみよう」で Abi-ふるさとの授業が展開されました。

最初に、先生が教科書を読みながら、挿絵についてみんなに質問していきます。挿絵と同じように、新木小学校の周りや我孫子市内にも、公園や図書館、パン屋など、たくさんの魅力的な場所があることをみんなで確認しました。

次に、それぞれの通学路の素敵なおところを考え、ノートに書いていきます。すぐに思い出せない子も、一学期の生活科の通学路探検の掲示物を振り返ることで、素敵なおところに気づき、ノートに書くことができました。その後、近くの友達と共有しながら気づきを深めました。

そして、学級全体で通学路のコースごとの素敵なおところを発表していきます。坂道、色々な落ち葉、畑、家、看板、公園等々、様々な視点で通学路にある素敵なおところを見つけることができました。また、「手を振ってくれる車掌さん」や「みんなの安全を守ってくれる安全管理員さん」など、新木には素敵なお人がたくさんいることにも気づきました。

本学習をとおして、新木の町の魅力に気づき、「もっと新木や我孫子について知りたい。」「もっと魅力を探してみたい。」という思いを持つことができました。



Abi-キャリア「つうがくろにはなにがある～交通安全～」

高野山小学校の1年生が、学活「交通安全」の学習で Abi-キャリアの授業を行いました。我孫子中学校区は小中を一貫させたオリジナルカリキュラムのテーマを安全教育として作成中です。今日は、学区内にあるヤマト運輸と地域連携をした授業です。

授業が始まると、ヤマト運輸の方から「みんなにとっての一番大切なものは？」という質問がありました。児童は「命」と答え、「大切な命を守るために交通安全のルールを守る」という授業で学ぶことの意義を共有しました。

次に車両を使い、「運転手からは見えない死角」があることを知りました。身を乗り出し「確かに」「なるほど」などと呟きながら、視覚的に理解を深めました。横断歩道で手を挙げる理由について、「運転手からよく見える」「他の人への渡る合図」などの回答が出たことにも驚きました。

その後、横断歩道の正しい渡り方を確認し、信号を見ながらルールを守って横断歩道を渡る体験をしました。ヤマト運輸の方が寄り添い、優しく導いてくれました。

終わりの会の感想発表では、学んだことがその日の放課後からすぐに実生活で生かされるだろうということを強く感じました。





T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年12月11日
我孫子市小中一貫教育だより
第355号



我孫子市マスコットキャラクター
「手繪沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「たからほいくえんのみんなをよんで、『あきのおもちゃパーティー』をひらこう」



布佐小学校1年生で生活科の授業が行われました。

先日、学校近くの宮の森公園で秋を見つけた1年生。生活科にはたくさんのどんぐりやまつぼっくりなどが並んでいました。それらを使っておもちゃを作り、布佐宝保育園の園児を招待して遊ぼうというのです。

この学習のゴールは、園児のみんなにおもちゃパーティーを楽しんでもらうこと。何を準備するのか、どんなことに気をつけるのか、これまでに話し合っただけで気持ちが高まってきました。そして、おもちゃ作りです。本時は、作りたいおもちゃを考える時間。まずは1人でワークシートに構想を練ったり、材料を見たり触ったりして思いを巡らせます。後半は、チームに分かれて作戦会議です。どんぐりやまつぼっくりを抱えて「いっぱいできる！」とわくわくする子、段ボールで斜面を作りたくて折ってみる子、先生に相談しながら材料を考える子…。子どもたちの頭の中は、どうしたら楽しめるおもちゃを作れるのかフル回転でした。

きっと、この後は力を合わせて、試行錯誤しながらおもちゃを作っていくことなのでしょう。「あてもない、こうでもない」の後の「できた！」が楽しみです。そして、保育園のみんなが大喜びしながら遊ぶ「おもちゃパーティー」の成功を祈っています！

Abi-キャリア「昔遊びの会」

根戸小学校の1年生が「昔遊びの会」で Abi-キャリアの授業を行いました。今日は近隣にある4つの保育園児と一緒に活動します。

我孫子市北地区社会福祉協議会や地域から、たくさんのボランティアの方が来てくれ、めんこやけん玉、あやとりなどの様々な遊びを子ども達に教えてくれました。初めての遊びには苦戦している様子もありましたが、できるようになるまで何度も何度も楽しみながら挑戦しました。

1年生は、ボランティアの方から上手に遊ぶコツを教えてもらい、できるようになったことをペアの保育園児に教えていました。「ひざを曲げるといいよ。」「こうやって思いっきりやると上手くいくよ。」など言葉やジェスチャーを使い、どうしたらできるようになるのかを一生懸命考え、伝えました。園児ができるようになると、自分のことのように喜んでいました。

最後に、我孫子市北地区社会福祉協議会と地域の方に、御礼の劇と歌、手作りのメダルをプレゼントしました。地域の方に見守られ安心して学べる環境のなかで、思いやりの心も育っていく。そんな心が温かくなる授業でした。





T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年12月11日
我孫子市小中一貫教育だより
第356号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「地方自治と私たち」

湖北中学校で3年生社会科公民的分野「地方自治と私たち」の単元を利用し、「我孫子市でできる地方創生」をテーマとした Abi-ふるさとの授業が展開されました。

初めに自分たちの生活を例に挙げ、他の自治体と異なる部分や我孫子市のよさについて考えました。生徒に「将来、我孫子市に住みたいですか？」と質問をすると、我孫子市に定住したいと考えるには課題があることが浮き彫りになりました。

市内各地区の状況や人口の推移などのデータを見ながら、多角的に我孫子市を分析した後、改めて他の自治体の取り組みを調べました。町の発展や定住化促進に向けて先進的な政策や町おこしが行われているいくつかの自治体の取り組みを調べ、ワークシートに記入しました。調べたことをグループで共有すると「これは我孫子市では無理だと思う。」「これはぜひ我孫子市でも真似するべきだ。」などといった意見に発展しました。先生からは、それを考える視点の一つとして、我孫子市の財政が大切であることも告げられました。



我孫子市の現状と課題を認識し、一人ひとりが考え表現しながら社会参画意識の醸成をねらった授業であると感じました。複数の教科を連携させ、ふるさと学習のさらなる充実と発展を期待しています。

Abi-ふるさと「田口 静」

我孫子第二小学校、6年生道徳の授業で「田口静」を採り上げた Abi-ふるさとの授業が展開されました。田口の生き方を知り、人の役に立つことや自分の長所を誰かのために生かそうという思いをもつことをねらいとしています。

田口が「赤ひげ先生」と慕われていたという逸話から、「田口静はなぜ赤ひげ先生と呼ばれていたのだろうか」という学習課題が示されました。副読本「ふるさと我孫子の先人たち」を活用し、田口が取り組んだことや行いに対してすごいと思ったことについて、根拠を示しながらワークシートに記入しました。

記入後は、グループ内で一人一人の考えを共有しました。それを基にグループでの意見をまとめ、全体に発表しました。グループから学級全体へと視野を広げていくことで様々な考えに触れ、お互いの考えから学び合い、理解を深めることができました。

授業の最後には、田口静は「多くの人に親しまれた人」「どんな人より真面目に取り組んだ人」「自分のことより他人を優先した人」などの意見が発表されました。ふるさと我孫子の偉人について認識を深めるために有効な授業であったと思います。





T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年12月24日
我孫子市小中一貫教育だより
第357号



我孫子市マスケットキャラクター
「手舞沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「ようこそ～小ランドへ～寿保育園年長交流会～」

我孫子第一小学校1年生生活科の学習でAbi-キャリアの授業が展開されました。今日は、生活科の学習で学んだことを活かし、小学校ってこんなに楽しいところだよと、園児に「学校の素敵」を伝えます。

まずは、「にじ」の曲を振り付きで歌いました。元気いっぱいの歌声が体育館中に広がり、園児を優しく包みます。続いて6つのコーナーに分かれ園児と交流をしました。授業で集めた木の実でどんぐりマラカスを作り、音楽に合わせて一緒にダンスをしたり、松ぼっくりで作ったけん玉で遊んだりしました。

木の葉を使ったフロッタージュでは、葉っぱの上に重ねた紙が動かないよう手を添えながら、「色鉛筆をねかせて優しくこするといいよ。」など自分の経験から学んだことを教えていました。



感想発表では、園児から「ボーリングで350点取れて嬉しかった。」「すごく楽しかったからまた来たい。」などの感想が発表されました。

園児が帰った後、学年の先生方から頑張ったことを評価する言葉が掛けられました。子ども達は、先生方や園児の言葉を聞き、自分自身の成長を感じていました。園児と関わり、自分の役割に責任を持ちやり遂げたからこそ味わえた達成感が溢れる、素敵な授業でした。



Abi-ふるさと「風水害からくらしを守る」

我孫子第三小学校4年生社会科で、Abi-ふるさと「防災から身を守る」の授業が行われました。これまでも安全教育は各校で実施されてきましたが、我孫子中学校区では安全教育で教科や領域、そして9年間の学びをつなぐ視点を大切にしています。

これまで学習した内容を踏まえ、児童それぞれが「防災宣言」を通して、自分にできる防災の取り組みについて考えることが目的です。まず、千葉県が作成している防災教育の副読本「こども防災」のワークシートを活用し「地震に備えておいた方がよいこと」を書きました。「集合場所を決めておく」「倒れやすいものは高いところに置かない」「非常食の定期的点検」などの意見が挙がりました。「防災宣言」では、「近所の高齢者や体の不自由な人を知っていれば避難を手伝うことができる」という共助の視点から考える児童もいました。



1995年に発生した阪神大震災では、被害を最小限に抑えるために「自助」「共助」「公助」が「7:2:1」の割合で連携し対応力を高めしていくことが大切であるという教訓を残しています。安全教育の取組は、地域が一体となって「安全に暮らせる社会」について考えるきっかけとなります。子どもたちが授業で学んだことを、家庭で話す姿が目に見え、浮かぶ授業となりました。



T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年12月24日
我孫子市小中一貫教育だより
第358号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと・Abi-キャリア「みつけよう！楽しもう！手賀沼探検隊」

我孫子第一小学校に我孫子第四小学校の4年生が、総合的な学習の時間での交流のため来校しました。どちらの4年生も身近な我孫子の自然であり、シンボルでもある手賀沼について、互いの学習成果を伝え合い、手賀沼についてより理解を深めようというものです。



簡単なレクで打ち解けた後、まずは四小の4年生が発表です。一人一人が自分のテーマに沿って調べてまとめたものを一小の4年生に伝えました。タブレットの画面を見せたり、リーフレットにまとめたものを指したりと、個々のスタイルで一生懸命伝えていました。次は一小が発表の番です。同じテーマの友達同士でグループを作り、モニターに映したり、チラシを配ったり、実演して見せたりと、発表方法は各グループ様々でした。どちらの4年生もメモをとりながら発表を熱心に聞き、手賀沼の理解を深めました。

終わりの会では、「一小と四小で仲良くなれた。みんなの発表が上手でいろいろわかった。」
「お互いに伝えあって、手賀沼のことがもっと知れて楽しかったし、また交流したい。」と振り返りがありました。手賀沼のことをさらに知り、「手賀沼を大切にしたい」という共通の思いをさらに膨らませることができました。同じ中区の小小のつながりが、この先様々な形で無理なく続いていき、中学校も含めた小中一貫教育に生かされることが期待できる交流でした。

Abi-ふるさと・Abi-キャリア「地震から暮らしを守る」

高野山小学校 4年生の社会科「風水害から暮らしを守る」の単元で「自助」に焦点を当て、災害に対する意識を高めることを目的とした授業が展開されました。



「災害に備えて自分たちはどのようなことをすればよいだろうか」という学習課題が提示されると、家族へのインタビューや自分で調べてきた「災害への備え」に関する事柄を記入した付箋を模造紙に貼っていきました。活動は班ごとで行い「何のために」「どんな時に」という視点で付箋のグループ分けをしました。付箋を貼った模造紙を黒板に貼り出し、全体で共有をすると、「家の中にも怪我をしないための備えがある。」「ガス、水、電気が使えなくなったときの備えがある。」「生活に必要なものや食料品が多い。」ということに気がきました。



最後に、これまでの学習と今日の学習から大切だと思うことを考えました。ライフラインが途絶えたらと想像し、その中でどのように正確な情報を得て避難するのかを真剣に話し合うことで、学びが積み重なっていくことを感じました。実践を中学校区で共有し、さらに発展させた中学校のカリキュラムへと一貫していくことを願っています。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年12月24日
我孫子市小中一貫教育だより
第359号



我孫子市マスコットキャラクター
「手舞沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと・Abi-キャリア「あびこ魅力UPプロジェクト」

我孫子第一小学校の総合的な学習の時間で『あびこの魅力UPプロジェクト』として6年生が市役所の都市計画課、企画政策課の方に聞いた話をもとに未来の我孫子をどんな町にしたいかを考えました。

どのクラスの児童も6年生の目線で我孫子市の現状を見つめ、魅力や課題について真剣に意見を交換していました。2組では、曼荼羅チャートを用いて20年後の我孫子の魅力を班ごとに発表し、3組では前時で作った曼荼羅チャートを見返し、「人口」や「施設」、「まちづくり」などの項目分けを行い、関心のある項目ごとにグループに分かれ、自分たちに行える「魅力アップ」の活動内容について話し合いました。1組では市役所都市計画課の話から学んだことを生かして「今ある我孫子の魅力とこれから作っていく我孫子の魅力」について話し、自分たちが出した曼荼羅チャートの内容を見返しながらアイデアを再考していました。どのクラスの児童も頭を付け合わせ、自分の意見を積極的に伝えあっていました。他の班の発表なども真剣に聞き、すべての児童がふるさとである我孫子について自分ごととして捉えていると感じる授業でした。



我孫子市の一員として、我孫子を大切に思うだけでなく、これからの我孫子をこんなにも真剣に考えてくれている一小的児童に感心させられると同時に頼もしさを感じる授業でした。

Abi-ふるさと「布佐の自まんカルタ大会をしよう」

布佐小学校3年生総合で、Abi-ふるさと「布佐の自まんカルタ大会をしよう」の授業が行われました。布佐中学校区では、小中一貫教育を先行的に実践しており、「ふさカリキュラム」を教育課程に位置付けています。

授業のはじめに完成しているカルタを紹介しました。「(お) おおにぎわいの竹内神社のおまつり」や、「(い) いばらきにつながっているさかえばし」など、布佐のまちについて、これまで学習したことをふり返りながら作成していることがよくわかりました。児童たちは協力して作成に取り掛かると、読み札の内容を考える児童、取り札の絵を描く児童、一人一台端末を使って調べる児童など、自分たちで役割を分担し、和やかな雰囲気ですべてを進めていきました。タブレットも普段から使い慣れている様子がわかりました。



授業の最後には、完成した分のカルタで「ぶちカルタ大会」を行いました。自分たちで作ったカルタだからこそ、大盛り上がりで楽しんでいました。カルタが全て出来上がったなら、他の班と交換して行う予定だそうです。1・2年生や地域の方との交流にも活かしていけそうです。

郷土について知り、郷土を大切にしようとする心が育まれていく、温かい授業となりました。本番のカルタ大会が楽しみでなりません。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和7年1月8日

我孫子市小中一貫教育だより

第360号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふるさとだしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「嘉納治五郎 ～精力善用・自他共栄～」

新木小学校の5年生で、Abi - ふるさと「嘉納治五郎」の授業が行われました。「柔道の父」としての功績及び生き方や精神について理解し、チャレンジ力をもつことを今日のゴールに決めました。

まず「柔道」についての知識を共有しました。オリンピック種目であり、世界各国で親しまれている柔道。その柔道を広めた人が、嘉納治五郎であることを知ると子ども達はとても驚いていました。

次に、補助教材を活用し「嘉納治五郎」について詳しく学びました。身体が小さく弱かった治五郎は、自分を鍛え「精力善用」と「自他共栄」という精神を大事にしていました。児童からは、自分のことだけでなく、多くの人のことを考え「柔道のすばらしさを世界に知らせたい」「スポーツの精神を広げたい」と願った嘉納治五郎に感心する意見がでました。

他にも、我孫子に別荘を建てたこと、白樺派の文人たちを呼び寄せたこと、今の白山地区に農園をつくったこと、我孫子第一小学校に書を贈ったことなどを知り、明治時代を生きた我孫子の先人を身近に感じました。

嘉納治五郎の幼少期の生活やどのように体を鍛えたのだろうかなど、授業で学んだことを基に新たな疑問を持つ声が聞こえ、「もっと知りたい」という思いが育つ授業でした。



Abi-ふるさと「町たんけんをしよう」

湖北小学校2年生生活科「わたしたちの町、はっけん」の単元で、町探検で行った場所について友だちに伝える授業が展開されました。本時は、楽しみながら発表するなかで、自分たちの町にある施設、場所の様子やよさ、働く人の様子について気づくことをねらいとしています。

学習計画や「湖北はかせ」と書かれた教室の掲示物や、児童のノートにあるワークシートから発表会に向けた準備がきめ細かく行われていることを感じました。

発表は、作成した壁新聞や資料を使い、ポスターセッションを行いました。クイズを交えながら全員が発表できるよう役割分担をし、緊張しながらも一生懸命に発表しました。

発表の最後に述べた感想も「〇〇の大変さがわかった。」「〇〇を知ることができてよかった。」など、学習の成果を実感できるものでした。全ての児童が楽しくて仕方がないといった様子で意欲的に活動していました。発表後は、授業の余韻を楽しむかのように口々に感想を呟いたり、友だちと会話をしたりしながら、ワークシートに振り返りを記入しました。

授業のねらいを十分に達成した1時間であるとともに、今後も地域の人材や資源を活用し、「地域に誇りを持ち地域を愛する、そして地域の将来を担う人材の育成」に取り組んでほしいと感じる授業でした。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和7年1月8日

我孫子市小中一貫教育だより

第361号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「係をきめよう」

湖北台西小学校の4年生の学活で Abi-キャリアの授業が展開されました。今日の授業では、係の仕事を見直し新しい係活動を考えます。そのなかで、自分たちの係活動の取り組みについて振り返り、よりよい活動に改善していくことが目標です。

係活動の意義について考え、客観的に活動を見直してみると、課題のある係とうまく活動できている係があることが分かりました。結果が分かれた原因を分析していくと、仕事量の違いに原因があることに気が付きました。子ども達は、考えたことをお互いに伝え合い、対策として「人数の見直し」「互いに助け合える係を結び付けていく」という方法を考えました。今後は、考えたことを実践・調整し、3学期の係活動につなげていきます。

話し合い活動からは、互いのことをよく知っているからこそ、それぞれの能力を活かして係活動を充実させていこうという子ども達の思いが伝わってきました。互いに助け合うという視点で話し合いを深め、学級をよりよくしたいという思いが育つ、温かい授業でした。



Abi-ふるさと・Abi-キャリア「プロフェッショナルに聴く会」

湖北台西小学校の6年生がキャリア学習として、「プロフェッショナルに聴く会」の授業を行いました。地域新聞社に協力をいただき、銚子丸、伊藤ハム、広島建設、ZOZO、地域新聞社の5社、そして日頃からお世話になっている近隣の農家である「ベジ LIFE!!」に職業のプロフェッショナルとして講話いただきました。

児童は、6企業の中から3社を選び、質問タイムを含め45分間ずつ話を聞きました。1日の仕事の流れ、体験した内容、その職業に就くために必要な資格などの話を聞くだけでなく、ソーセージ作りに使われる材料に触れたり、新聞記事を書いたり体験活動も行いました。質問タイムでは、事前学習を通して出てきた疑問を企業の方たちに積極的に質問しました。「やりがいは?」「一番大変だったことは?」「実際に働いてみて変わったことは?」など多数の質問が児童たちから出てきました。企業の方が答えてくださった内容を一生懸命にメモする姿からも今回の職業人講話が生徒にとって有意義なものになっていることが感じられました。

今回のプロフェッショナルに聴く会は、新しい職業観を見出したり、自分の目標や夢を再確認したりすることができる時間となりました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和7年1月8日

我孫子市小中一貫教育だより

第362号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「仕事ってなんだろう」

湖北台東小学校の3年生総合的な学習の時間で、Abi-キャリアの授業が行われました。1年間かけて、仕事について調べたり、社会科見学、校外学習などで学んだりしたことを通し、仕事についての理解を深めるとともに、働くことへの関心を高めていくことが目的です。

本時の授業では、1年間のまとめとして、自分が興味を持った仕事について発表する準備をします。「ぬいぐるみ作家」や「パヒューマー」など、大人でも初めて知る仕事があり、つい「どんな仕事なの!？」と、聞いてみたくなりました。

初めに全員で、「仕事に就いたきっかけ」、「仕事の内容」、「大変なこと」、「必要な勉強」など発表に必要な視点について確認をしました。次に、小グループで互いにアドバイスをしました。「もう少し内容をしぼってみてはどうか。」、「仕事についての悩みはないのかな。」、「クイズ形式にしたら、聞いている人も楽しめるよ。」と、活発にアドバイスができました。

本時の授業は、話し合う目的や、話し合い方が丁寧に指導されていたことで、個々の考えを深めることができました。どの教科でも実践していく必要のあることだと感じました。児童のほとんどが、自分の考えを仲間のアドバイスから広げていく様子を見て、発表計画がよりよいものになるだろうと期待が高まりました。



Abi-ふるさと「あき だいすき」

湖北小学校の1年生生活科の学習で Abi-ふるさとの授業が展開されました。今日の学習は、地域にある幼稚園・保育園の年長児を学校に招待し、一緒におもちゃを作ったり遊んだりすることで自分の地域や、学区の様子について興味を持つことをねらいとしています。

おもちゃ作りの材料となる、どんぐりやまつぼっくりは1年生が地域にある公園で集めました。そのことを紹介すると、園児から「その公園知ってる。行ったことあるよ。」などの声が聞こえてきました。次に、遊べる5つのコーナーの説明をし、交流がスタート。1年生は、時間を区切り、お店屋さんや体験の担当に分かれました。

どんぐりマラカスやまつぼっくりけん玉のコーナーでは、紙コップに穴を開ける、クリップに紐を結ぶなど、手先を使ったり数を数えたりする活動がありました。小学生は、園児にコツを教えたり、一緒に数を数えたりしました。小学生と園児で特別にペアは作りませんでした。好きなことに夢中になって遊んだり作ったりすることで、自然と交流が生まれました。そのなかで、「これどうやるの。」「手伝おうか。」「自分で頑張る。」など助け合い学ぶ姿がみられました。

環境を準備することで、交流や学び合いが生まれ、子ども達は自立した学習者として育っていくという実践が行われた授業でした。

